

歩 街 田原

街あるっく田原

第27号

- 蔵王山展望台リニューアルオープン
- 蔵王山展望台施設大解剖！
- フラワーショップ林

平成26年11月17日

発行元 / 株式会社あつまるタウン田原
所在地 / 愛知県田原市田原町萱町1

TEL / 0531-24-2345 URL / <http://www.tahara-tmo.com/>

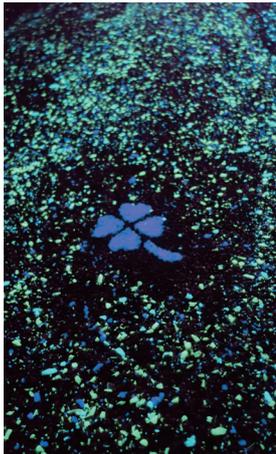


光のシンボル施設 蔵王山展望台リニューアルオープン

10月4日(土)にリニューアルオープンした蔵王山展望台。新しく生まれ変わった施設をご紹介します。

今回「光」をテーマにリニューアルされた展望台は、2Fは星空テラスを施した「エントランスフロア」、3Fは光と遊ぶことのできる「体験フロア」、4Fは大パノラマと夜景を楽しむ「展望フロア」となっています。

夜になると展望台全体が光のアートとして輝き、街中からも蔵王山展望台の幻想的なイルミネーションを楽しめます。四季ごとに色などが変化する照明が使用され、ライトアップで「蔵王山の四季」が表現されています。また、エントランスのテラスとスロープには蓄光石がちりばめられ、まるで星空を歩いているようです。幸せの四つ葉のクローバーを探してみてくださいね。



▲蓄光石のどこかに隠された幸せの四つ葉のクローバー

●リニューアルオープンした蔵王山展望台施設の詳細は、ホームページでご覧頂けます。

蔵王山展望台
<http://www.tahara-tmo.com/zaosan>



蔵王山展望台



ビーフシチューセット 680円



季節のワッフル 350円

▲蔵王 Panorama Cafe メニュー

以前売店だった場所は、蔵王 Panorama Cafe^{カフェ}としてリニューアル。田原産の牛肉を使ったビーフシチューや、旬の食材を使ったスープ、果物農家さん自慢のフルーツソースを使用した季節のワッフルなど、季節ごとに変わるメニューも楽しめます。メニューに使用されているフルーツソースは、お土産として購入可能ですのでいかがですか。



▲イチゴジャム 360円

— 展望フロア田原360° —

昼と夜では雰囲気も違いロマンチック♥

4F

☆AR観光マップで楽しもう！☆



昼間の様子

夜間の様子



昼間の様子

夜間の様子



スマートフォンなどでアプリを起動し、ARマーカにかざすと、観光スポットの名称や立体的な絵が浮かんでいきます。画面をタッチすると、各所の詳細情報を見ることが出来ます。

☆見てみりん！新エネルギー☆



昼間の様子

夜間の様子



風力発電

エネルギー施設

☆Tahara Graffiti Wall☆



昼間の様子

夜間の様子

展望フロアからの眺めは最高！昼も夜も堪能。



田原の花火



昼間は360°見渡せる大パノラマ。夜は一変、街に光が灯りとっても綺麗。カップルにおすすめ！実は先日こんな出来事がある…。「実は彼女にこの場所でプロポーズしたいのですが…」なんて問い合わせもあったとか♥

《街なか情報ピックアップ》…街のホットな話題をご紹介します…

12/20
Xmas
アカペラ
ミニライブ

▼日時▶平成26年12月20日
●開催場所▶セントファリー1F
センターコートにて開催予定
神戸を拠点に活動しているボーカルグループ「Permanent Fun」が、今年もセントファリーでクリスマスミニライブを開催。クリスマスツリーの前で、クリスマスソングをアカペラで歌ってくれます。心温まるハーモニーをお楽しみ下さい。

12/13
サンタが街に
やってくる

楽しい催しを準備してお待ちしていますので、ぜひご来場ください。
▼日時▶平成26年12月13日
午後3時〜午後5時
●開催場所▶三河田原駅前広場を中心開催予定
今年はどうなるかが登場するのでしょうか。お楽しみに。

蔵王山展望台 大解剖

— 体験フロア —

3F

渥美半島ガイドマップを触って体験！



タッチパネル！

テーブル型体験装置に手を触れると、トレッキングやサイクリングコースなど、観光についての情報をご覧いただけます。

あかりの展示ブース



そーなんだ！！

豊かな暮らしと文化を照らし続けてきた「あかり」を紹介しています。

ファンタスティックシアターZAO



大画面！！

蔵王山から見える、昼と夜の魅力をパノラマ映像で紹介。

光と遊ぼう！田原の四季を体感



いいね！！

休憩用のソファが設置されているので、遊び疲れたらちょっと一休み出来ます。

モーショングラフィック（コンピューター上で作られる絵に動きや音を加え、映像にしたもの）

人の動きに反応。時間を忘れて遊びに夢中！！



ちょうちょだ！

映し出された菜の花に乗ると、菜の花と蝶が動きます。

壁に手をかざすとイチゴが出現！

いちごいちご！！

わー！！

スナメリやおさかなが寄ってきます。

触れた場所に綺麗な花火が上がります。

きれい！！

田原の企業・お店で活躍されている方をご紹介します！

有限会社 フラワーショップ林 林俊介さん

●プロフィール

1977年、田原町生まれ。大学を卒業後、東京の花屋育成の専門学校に入学。卒業後、岡崎市の花屋で2年間修業し、平成15年家業を継ぐ。



住 田原市田原町松下 13
☎ 0531-22-1385
営 月・水～土 9:00-19:00
 火・日・祝 9:00-18:00
駐 3台



▲「有限会社フラワーショップ林」の3代目、林俊介さん。

お店の歴史

昭和30年代に、林さんの祖父が現在の場所で花屋を開業。父の代となった昭和54年に法人化し、有限会社フラワーショップ林となりました。

お店の転換

家業を継いで間もなく、林さんの父が病気になるようになったのをきっかけに、ギフトの花を核にした方針に切り替え、結婚・出産等のお祝いや、バレンタインデー、母の日等の年中行事の花のほか、発表会や講演会等の会場装花に仕事の中心をうつしていきましました。

しかし、リーマンショック後に、花の需要が急激に落ち込んだこともあり、ロスの出やすい生花のみでの営業に困難を感じるようになったそうです。そこで林さんは切り花、鉢物の生花に加えて「プリザーブドフラワー」の販売を始めました。プリザーブドフラワーとは、生花に特殊加工を施したもので、鮮やかな色や生花由来ならではの柔らかい質感を長期間楽しむことができるお花のことです。

その他、自分でイベントを企画したり、他のイベントに積極的に参加したりと、自分からお客様の方へ向かうことを大切にしようになったそうです。そうすることで、新しいお客様との出会い、また美容関係の方や果物農家さん等の異業種の方との出会いも増え、その中でプリザーブドフラワーと果物の詰め合わせギフトのような、異業種とのコラボ商品を生み出し、新しい需要の開拓をされています。

“気持ちを伝える” お手伝い

花の一大産地である田原市の人たちに花をどう買ってもらおうのかが、林さんのテーマだそうです。そのためには、花をただの商品ではなく、“気持ちを伝えるもの”にすることが大切なのだそうです。

“気持ちを伝える花”を作るには、まずお客様から気軽に希望を伝えていただかなくてはなりません。それが、自分からお客様の方へ向かうようになって得られた実感だそうです。

地域への思い

「自分の仕事でどれだけ地域を素敵にし、幸せな人を増やせるのか」ということを意識して仕事をしている林さん。

「花を贈ることが特別なことではなく、気持ちを伝えるための方法として、自然に花を贈る社会になるようにしたい」と、思いを語ってくれました。

【次回のお知らせ】

今回は、(有) フラワーショップ林さんからバトンを受け取った「メナードフェイシャルサロン レセルテ田原」の店長鈴木ゆかりさんをご紹介します。お楽しみに♪

